

飯塚市水道事業経営戦略 進捗状況報告書 (令和5年度決算)



令和6年10月

飯 塚 市 企 業 局

目次

1章 飯塚市水道事業経営戦略の概要について	1
1 策定の趣旨	1
1-1 経営戦略策定の背景	1
1-2 計画期間	1
1-3 経営戦略の目的	2
2 経営の基本方針	3
2-1 基本理念〈飯塚市水道事業ビジョン〉	3
2-2 経営戦略の目指すべき方向性	3
3 経営戦略の進捗管理と改善	4
2章 令和5年度の収支状況について（計画値との比較）	5
（1）収益的収支	5
（2）資本的収支	5
3章 目標の進捗状況	5
4章 経営指標の動向について	9
4-1 経営比較分析指標による現状分析	9
4-1-1 経営の健全性・効率性について	9
4-1-2 老朽化の状況について	13
5章 経営の現状と課題について	15
5-1 経営指標の「3つの視点」による現状と課題	15
5-2 全体総括	15

<巻末添付資料>

・投資・財政計画

1 章 飯塚市水道事業経営戦略の概要について

1 策定の趣旨

1-1 経営戦略策定の背景

本市の水道事業は、大正 13 年の創設以来、市勢の急速な発展や多様化する市民のニーズに corres 応するために、8 期に及ぶ拡張事業により水道普及率は 97% を超え、市民生活や産業活動に欠くことのできないライフラインとなっています。

一方、これまでの水道普及のための「建設・拡張」の時代を経て、これから「維持管理・更新」の時代に移行し、大きく事業環境が変化しているところです。また、給水人口や料金収入の減少、水道施設の更新需要の増大、地震等の災害時対策の整備などの様々な課題を抱え、今後は経営環境がいっそう厳しくなることが想定されています。

しかしながら、現在の経営状況では、維持管理はできても老朽化した施設を更新する財源が不足しています。法定耐用年数を経過した施設や管路は 4 割を超えており、積極的な取組が必要不可欠となっています。

水道施設は利用者が減少しても、利用者が存在する限り、管路を廃止するわけにはいかないため、設備更新は継続的に実施しなければなりません。足元の経営だけを見て更新を先延ばしにすれば、将来、安定した水の供給は難しくなります。

本市では、水道施設の更新や安全な水の供給により、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、水道施設の計画的で効率的な更新、組織や事務事業の合理化、施設管理の効率化等の取組を推進し、投資（更新需要）と財源の均衡を図る中長期的な基本計画である「経営戦略」を策定しました。

1-2 計画期間

2021（令和 3）年度 ～ 2030（令和 12）年度（10 年間）

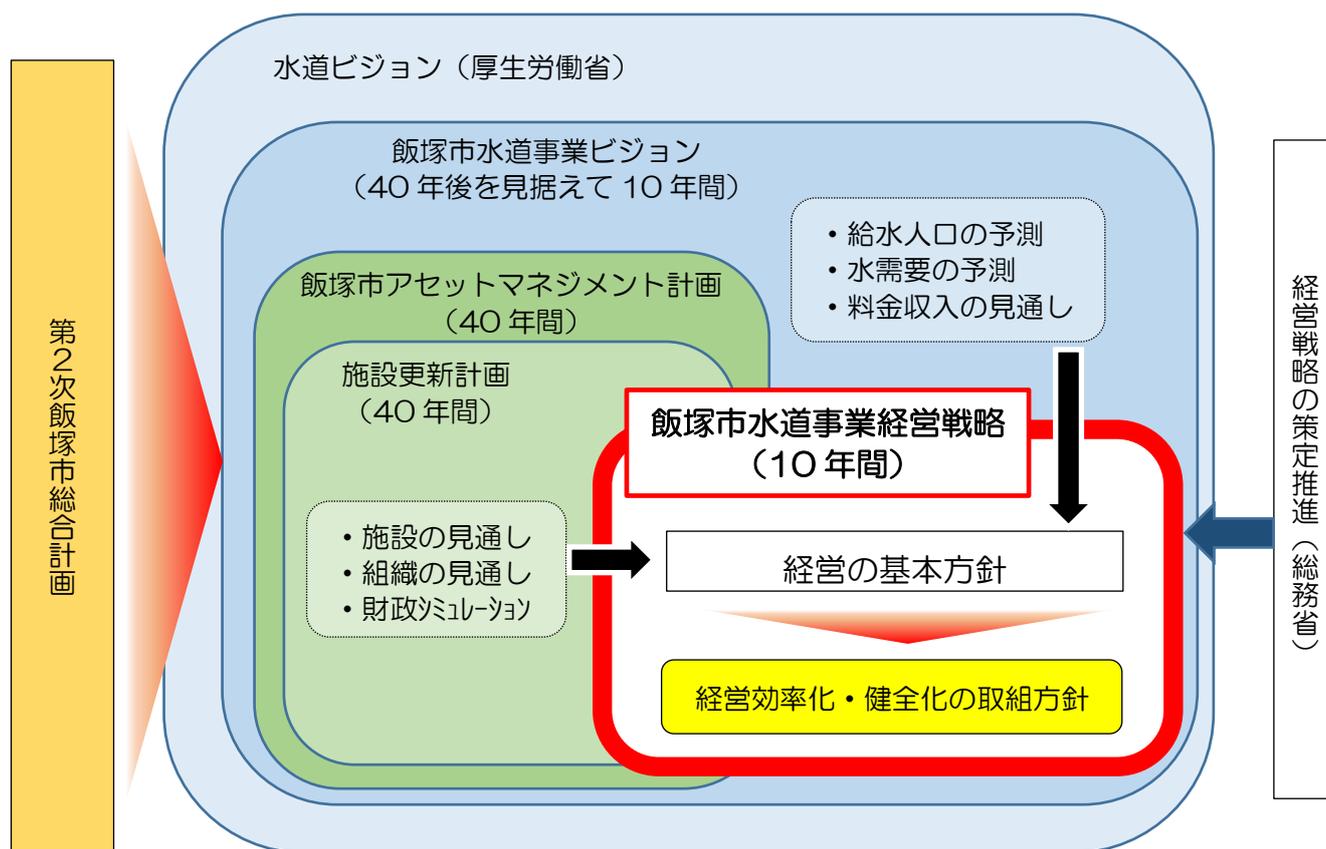
1-3 経営戦略の目的

総務省は、平成26年8月の「公営企業の経営に当たっての留意事項について」において、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定することを要請しています。

一方、厚生労働省は「新水道ビジョン」を策定し、水道の理想像とそれを具現化するための方策を示しており、本市では、平成31年3月に「飯塚市水道事業ビジョン」を策定しています。

本経営戦略では、これらを受けて、水道事業ビジョンやアセットマネジメント計画等により見込んだ「投資試算」と「財源試算」により収支計画を見込みます。そして、その収支計画の均衡を図るため、投資以外の経費について、効率化・健全化への取組について定めます。

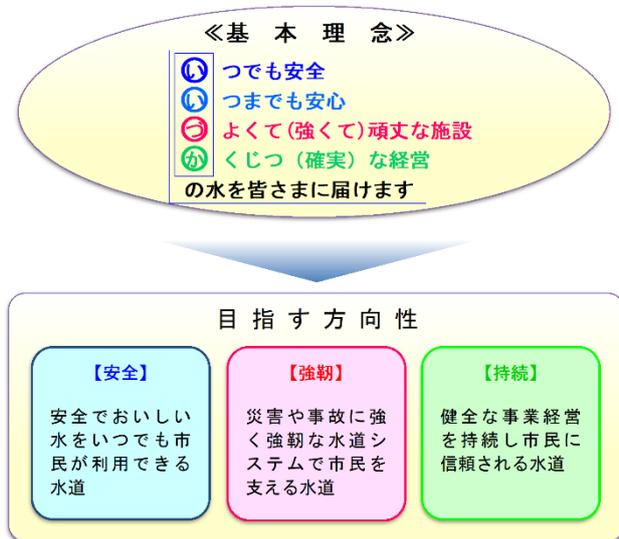
【経営戦略のイメージ】



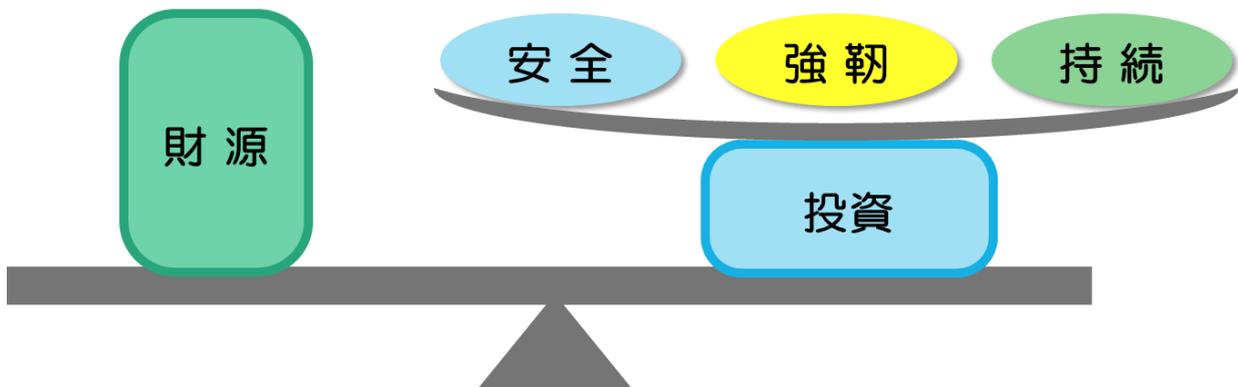
2 経営の基本方針

2-1 基本理念〈飯塚市水道事業ビジョン〉

今後厳しくなる経営環境が見込まれる中、住民生活や社会活動を支えるライフラインとして、安全、強靱で持続可能な水道の構築を目指し、「飯塚市水道事業ビジョン」に掲げる「**いづかの水を皆さまに届けます**（いつでも安全、いつまでも安心、強くて頑丈な施設、**確実な経営**）」を経営の基本理念とし、中長期的な経営の基本計画とします。



2-2 経営戦略の目指すべき方向性

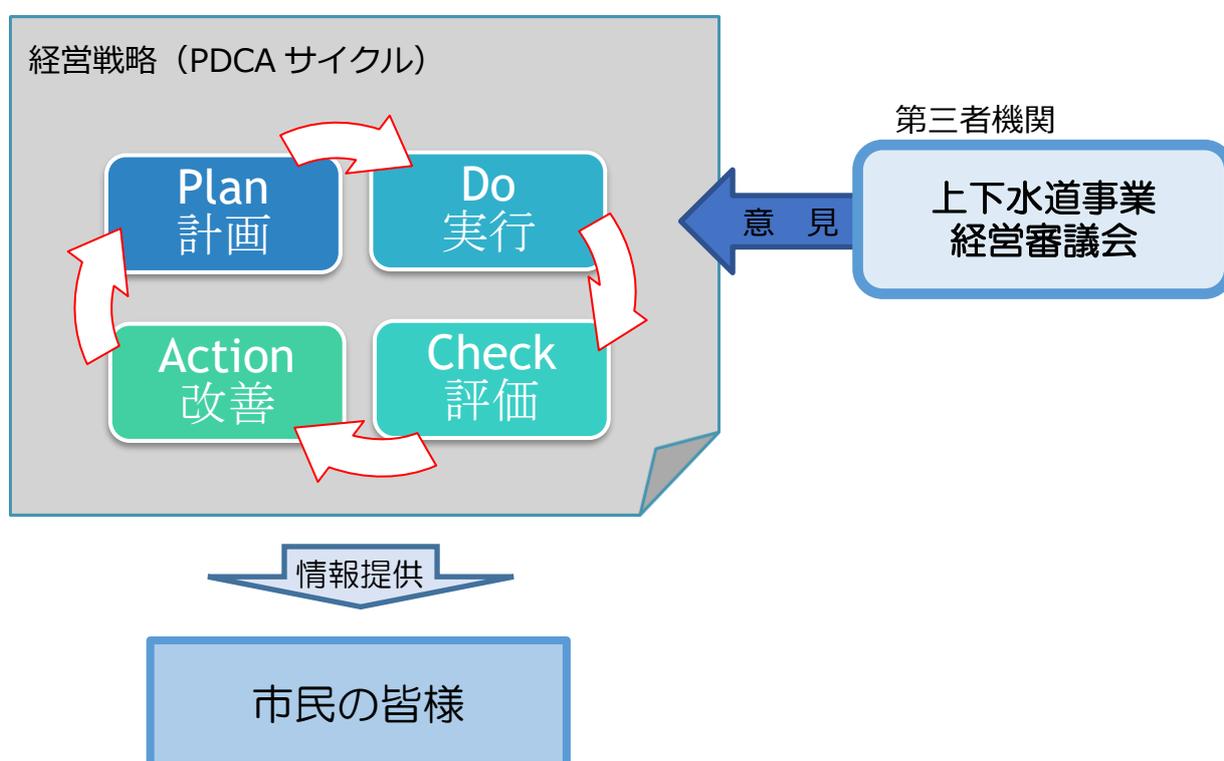


3 経営戦略の進捗管理と改善

本経営戦略は、PDCA サイクル（P：計画、D：実行、C：評価、A：改善）を活用し、本市上下水道事業経営審議会の検証・意見を参考にしながら、計画の実施状況の進捗管理を毎年度行うとともに、定期的（3～5年ごと）に見直しを行います。

また、進捗管理、見直し事項については、市ホームページ等で公表し、市民の皆様への情報提供に努めます。

【PDCAサイクルのイメージ】



2章 令和5年度の収支状況について（計画値との比較）

（1）収益的収支

別紙「投資・財政計画参照」

（2）資本的収支

別紙「投資・財政計画参照」

3章 目標の進捗状況

経営戦略において設定した【安全】【強靱】【持続】を確保するための目標についての進捗管理を行います。

目標項目	料金水準の定期的な見直し（単位：－）						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	改定	状況把握	状況把握・ 検討	検討	検討・精査
実績	－	改定	状況把握	状況把握			
目標との差異	－	－	－	－			
実施状況	計画：5年後を目途に料金水準が適正かどうかの判断を行う。 R5年度実績：補正予算時などにおいて、改定後の料金収入の状況把握を行った。						
要因・現状分析 （R5）	R3年3月に策定した経営戦略を基に、R4年1月に料金改定を行った。R5年度の料金収入は2,330,559千円となり計画値に比べて9,490千円上回った状況であるが、社会情勢の影響による電気料金や資材の高騰の状況にも注視し、経営改善に向けた取り組みを引き続き行う必要がある。						
今後の方針・ 方策（R5）	予算、決算と経営戦略との比較・分析を行い、料金収入の状況を把握するとともに料金水準の定期的な見直しを図る。						

目標項目	企業債残高対給水収益比率の向上 (単位：%)						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	—	300%を少し上回る程度				
実績	472.74	474.04	355.44	358.70			
目標との差異	—	—	小差	小差			
実施状況	計画：300%を少し上回る程度 R5年度実績：358.70%（企業局速報値）						
要因・現状分析 （R5）	R4年1月の料金改定による収益改善により、比率は料金改定前に比べ減少傾向にある。						
今後の方針・ 方策（R5）	給水収益の維持と計画性を持った地方債の借入れを継続して行うことにより、目標値の達成を図る。						

目標項目	内部留保資金の確保 (単位：億円)						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	—	—	—	—	—	15.7
実績	11.5	11.7	11.4	14.3			
目標との差異	—	—	—	—			
実施状況	計画：15.7億円（短期、R8年度末） R5年度実績：14.3億円						
要因・現状分析 （R5）	R5年度については資本的収入における企業債の皆増などにより、前年度に比べて内部留保資金は増加している。						
今後の方針・ 方策（R5）	給水収益を維持しつつ、収益的支出の執行を適正に行うことにより純利益を確保することで、内部留保資金の増加に寄与する。						

目標項目	老朽管更新延長の確保 (単位：km)						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
実績	5.85	5.87	5.59	5.23			
目標との差異	—	0.13	0.41	0.77			
実施状況	計画：6.0km/年 R5 年度実績：5.23km/年						
要因・現状分析 (R5)	R5年度については、前年度に比べて更新延長は減少した。更新を行う管路の口径により更新単価が増減し、更新延長にも影響を及ぼすため、事業費とのバランスも考慮し更新延長の確保に努める。						
今後の方針・方策 (R5)	年間 6.0km を目標としながらも、予算や社会情勢等を勘案し、柔軟な対応に努める。						

目標項目	老朽管更新事業の確保 (単位：億円)						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
実績	5.1	6.0	5.9	6.2			
目標との差異	—	0.8	0.9	0.6			
実施状況	計画：6.8 億円/年 R5 年度実績：6.2 億円/年						
要因・現状分析 (R5)	老朽管更新延長は前年度に比べて減少したが、事業費については前年度より増加したことを勘案すると、更新した管路の口径等が前年度に比べて全体的に大きかったことによるものと考えられる。今後も社会情勢等を勘案した柔軟な対応に努めていきたい。						
今後の方針・方策 (R5)	今後は入札率による執行残も念頭に置きながら予算編成や予算執行を行い、更新延長との関係に注視しつつ、適切に実施していく。						

目標項目	老朽施設整備の更新 (単位：億円)						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	—	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
実績	5.0	3.1	1.5	4.9			
目標との差異	—	3.1	4.7	1.3			
実施状況	計画：6.2 億円／年 R5 年度実績：4.9 億円／年						
要因・現状分析 (R5)	R5 年度については金額ベースでは、計画に対し低い金額で決算を迎えているが、予定の施設の更新は行った。今後は、更新予定施設と事業費とのバランスも考慮し、事業の進捗を行いたいと考えている。						
今後の方針・方策 (R5)	今後の施設の大規模更新に向けて、中・小規模の施設の更新については、その必要性を適切に判断し、目標額内での最大限の効果を目指す。						

4章 経営指標の動向について

4-1 経営比較分析指標による現状分析

経営比較分析表（経営戦略別添資料のとおり）は、経営状況や施設の状況を表す経営指標の、複数年にわたる比較や類似団体（全国の同規模事業者）との比較を行い、経営の現状や課題を把握し、今後の見通しや課題への対応に活用するために作成しているものです。この分析表は全国統一の様式となっており、主に全国の自治体が作成した調査票を国（総務省）が取りまとめて作成した各経営指標と、それを見て各自治体が自己分析を行う分析欄で構成されています。

経営比較分析表に記載している各指標を用いて、本市の水道事業の経営について、評価及び現状分析を行います。

評価の内容は次のとおりです。

【数値の方向性】

- ↑ 増加が望ましい指標
- ↓ 減少が望ましい指標
- () 望ましい基準の数値

【評価内容】

- A 良好な状況
- B 現状では問題がない
- C 悪化（要改善）

4-1-1 経営の健全性・効率性について

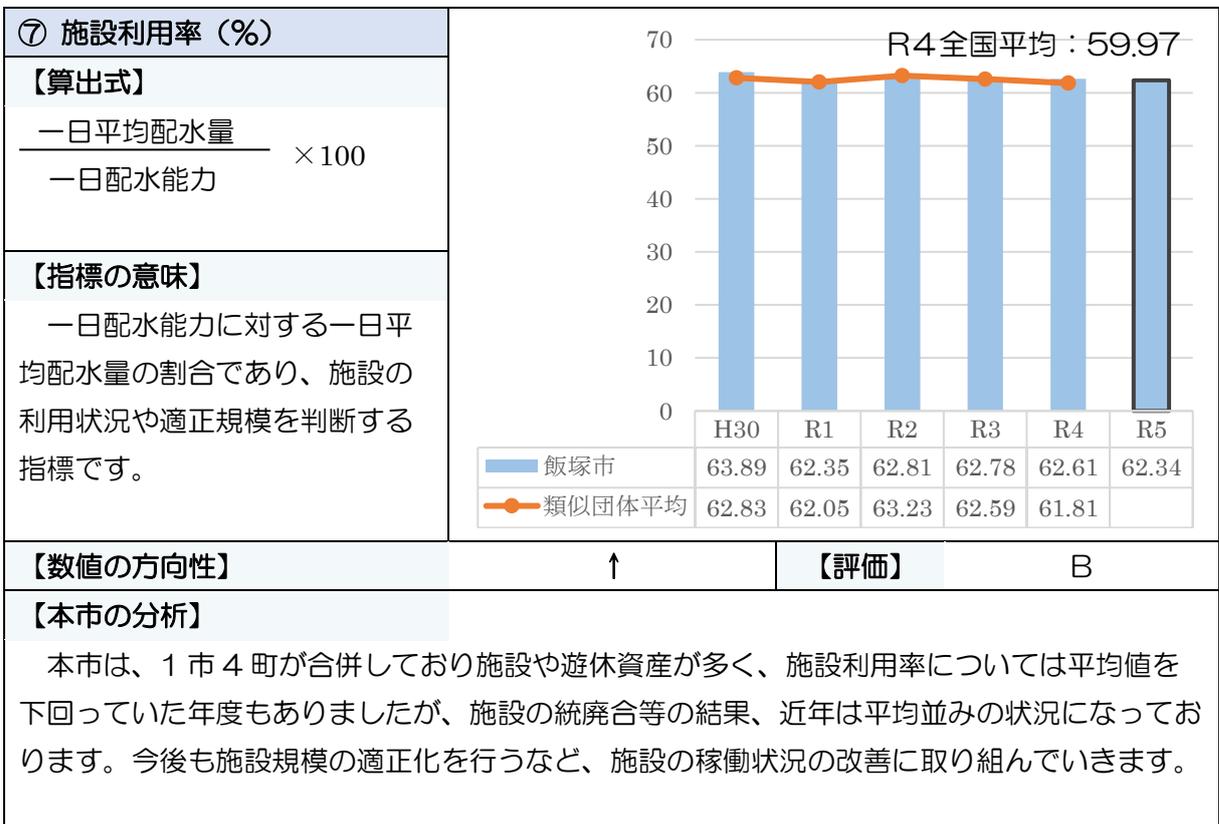
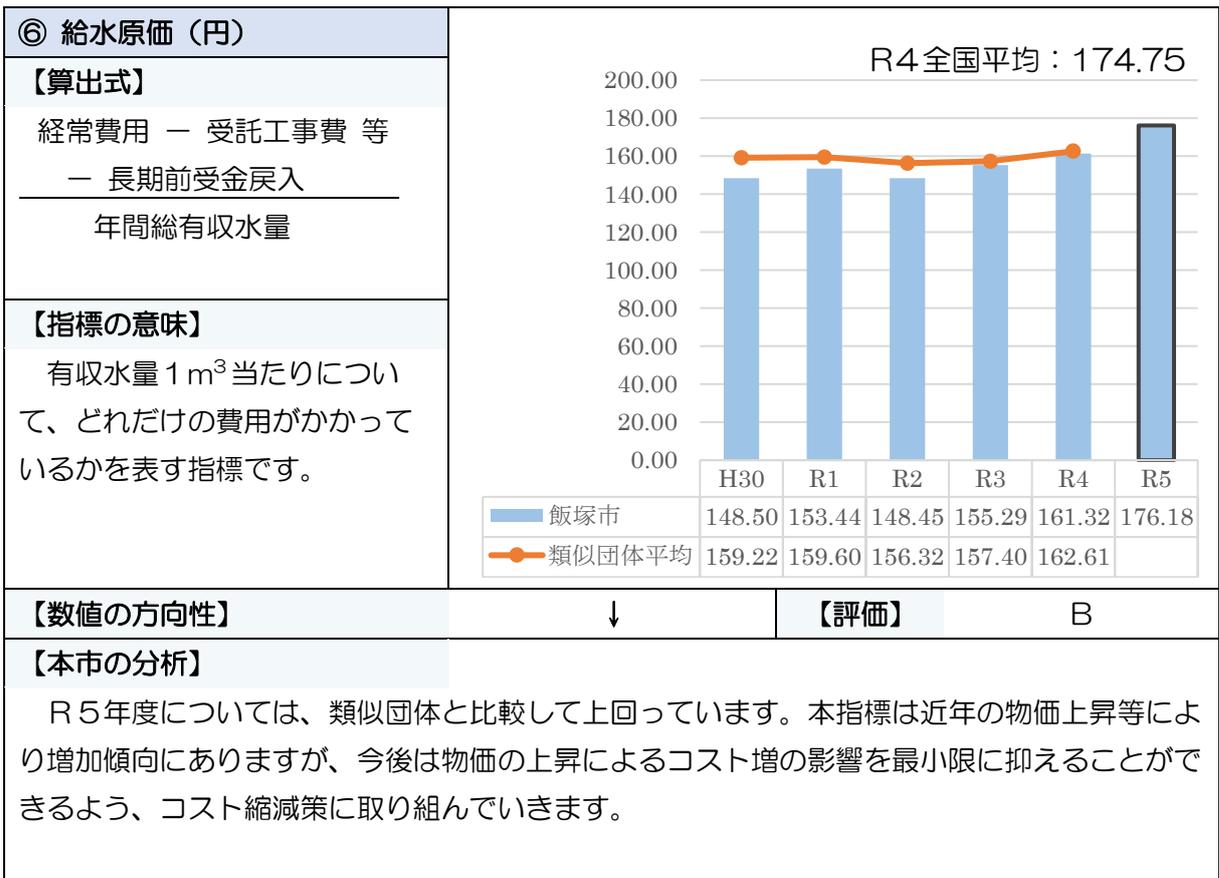
① 経常収支比率（％）																						
【算出式】 $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																						
【指標の意味】 当該年度において、給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																						
【数値の方向性】 ↑ （100 以上）	【評価】 A																					
【本市の分析】 R5年度については、R4年1月の料金改定に伴い、その比率は前年度に引き続き100%を上回る黒字の状況となっております。今後も人口減少や節水による有収水量の減少が見込まれるため、引き続き経常費用の削減に取り組むなど経営戦略に基づき財政運営を行います。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>96.65</td> <td>93.63</td> <td>95.14</td> <td>92.23</td> <td>117.23</td> <td>108.41</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>113.82</td> <td>112.82</td> <td>111.21</td> <td>111.89</td> <td>109.99</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	96.65	93.63	95.14	92.23	117.23	108.41	● 類似団体平均	113.82	112.82	111.21	111.89	109.99	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																
■ 飯塚市	96.65	93.63	95.14	92.23	117.23	108.41																
● 類似団体平均	113.82	112.82	111.21	111.89	109.99																	

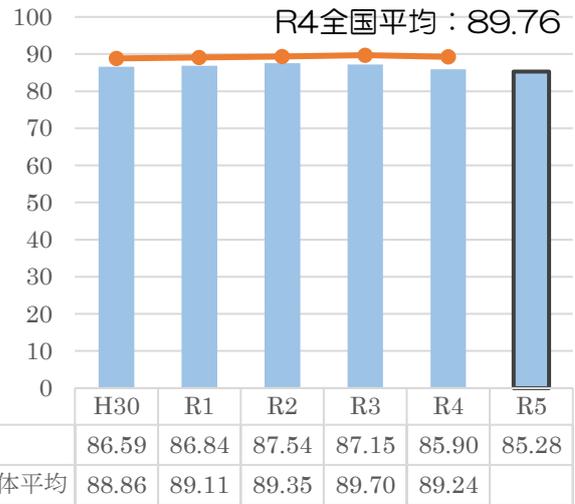
② 累積欠損金比率 (%)		R4全国平均：1.34																						
【算出式】																								
$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.45</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	0	0	0	0	0	0	● 類似団体平均	0	0	0	0.45	0	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																		
■ 飯塚市	0	0	0	0	0	0																		
● 類似団体平均	0	0	0	0.45	0																			
【指標の意味】	<p>営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失の状況を表す指標です。</p>																							
【数値の方向性】	↓ (O)	【評価】	A																					
【本市の分析】	本市においては発生していません。																							

③ 流動比率 (%)		R4全国平均：252.29																						
【算出式】																								
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>182.25</td> <td>164.77</td> <td>167.65</td> <td>162.44</td> <td>153.58</td> <td>262.64</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>335.6</td> <td>358.91</td> <td>360.96</td> <td>351.29</td> <td>364.24</td> <td></td> </tr> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	182.25	164.77	167.65	162.44	153.58	262.64	● 類似団体平均	335.6	358.91	360.96	351.29	364.24	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																		
■ 飯塚市	182.25	164.77	167.65	162.44	153.58	262.64																		
● 類似団体平均	335.6	358.91	360.96	351.29	364.24																			
【指標の意味】	<p>短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。</p>																							
【数値の方向性】	↑ (100 以上)	【評価】	B																					
【本市の分析】	本市においては、支払能力のある値になっていますが、類似団体と比較して下回っている状況になっており、経営改善を進めていく必要があります。																							

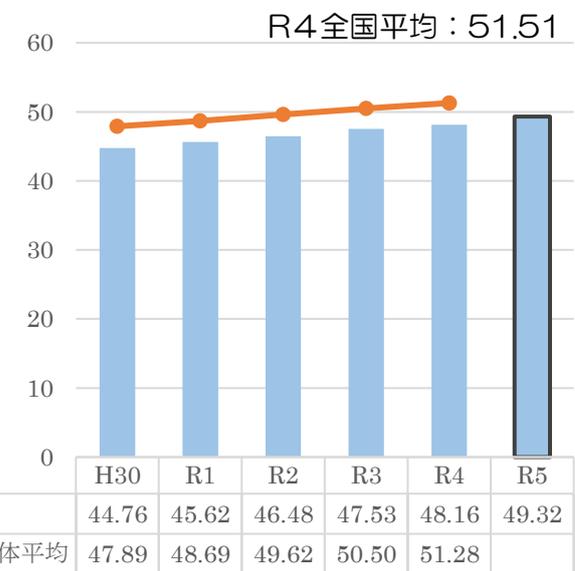
④ 企業債残高対給水収益比率 (%)																							
【算出式】 $\frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}} \times 100$																							
【指標の意味】 給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>468.41</td> <td>473.11</td> <td>472.74</td> <td>474.04</td> <td>355.44</td> <td>358.70</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>258.26</td> <td>247.27</td> <td>239.18</td> <td>236.29</td> <td>238.77</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	468.41	473.11	472.74	474.04	355.44	358.70	● 類似団体平均	258.26	247.27	239.18	236.29	238.77	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																	
■ 飯塚市	468.41	473.11	472.74	474.04	355.44	358.70																	
● 類似団体平均	258.26	247.27	239.18	236.29	238.77																		
【数値の方向性】	↓	【評価】 B																					
【本市の分析】 類似団体の平均と比較すると指標は大きくなっていますが、R4年1月の料金改定により、収益の確保が図れた影響で指標は改善していると考えています。今後も引き続き適正な企業債の借り入れを行うなど、更なる指標の改善に努めていきます。																							

⑤ 料金回収率 (%)																							
【算出式】 $\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$																							
【指標の意味】 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することが可能です。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>95.24</td> <td>92.05</td> <td>94.28</td> <td>90.55</td> <td>118.38</td> <td>108.95</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>106.07</td> <td>105.34</td> <td>101.89</td> <td>104.33</td> <td>98.85</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	95.24	92.05	94.28	90.55	118.38	108.95	● 類似団体平均	106.07	105.34	101.89	104.33	98.85	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																	
■ 飯塚市	95.24	92.05	94.28	90.55	118.38	108.95																	
● 類似団体平均	106.07	105.34	101.89	104.33	98.85																		
【数値の方向性】	↑ (100 以上)	【評価】 A																					
【本市の分析】 R4年1月の料金改定により、本指標は前年度と引き続き100%を上回る状況となり、給水に係る費用が給水収益で賄われていることを示しています。今後も効率的な事業実施によるコストの縮減などを図り給水原価（コスト）の減少に取り組みつつ、料金改定により発生する給水収益の確保を図ることとしています。																							



㊸ 有収率 (%)	 <table border="1" data-bbox="694 660 1412 784"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>86.59</td> <td>86.84</td> <td>87.54</td> <td>87.15</td> <td>85.90</td> <td>85.28</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>88.86</td> <td>89.11</td> <td>89.35</td> <td>89.70</td> <td>89.24</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	86.59	86.84	87.54	87.15	85.90	85.28	● 類似団体平均	88.86	89.11	89.35	89.70	89.24	
			H30	R1	R2	R3	R4	R5															
■ 飯塚市			86.59	86.84	87.54	87.15	85.90	85.28															
● 類似団体平均	88.86	89.11	89.35	89.70	89.24																		
【算出式】 $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$																							
【指標の意味】 施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標です。																							
【数値の方向性】	↑	【評価】 C																					
【本市の分析】 本市においては、類似団体を下回っている状況となっております。これは、配水量のうち、漏水等により収益につながらない水量が多くなっていることによるものと考えています。																							

4-1-2 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率 (%)	 <table border="1" data-bbox="694 1646 1412 1769"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>44.76</td> <td>45.62</td> <td>46.48</td> <td>47.53</td> <td>48.16</td> <td>49.32</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>47.89</td> <td>48.69</td> <td>49.62</td> <td>50.50</td> <td>51.28</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	44.76	45.62	46.48	47.53	48.16	49.32	● 類似団体平均	47.89	48.69	49.62	50.50	51.28	
			H30	R1	R2	R3	R4	R5															
■ 飯塚市			44.76	45.62	46.48	47.53	48.16	49.32															
● 類似団体平均	47.89	48.69	49.62	50.50	51.28																		
【算出式】 $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$																							
【指標の意味】 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示しています。																							
【数値の方向性】	↓	【評価】 A																					
【本市の分析】 本市においては、施設の老朽化が進んでおり、今後は施設の大規模更新等も見込まれるため、経営戦略に基づき、適正な投資を行っていく必要があります。																							

② 管路経年化率 (%)	<table border="1" data-bbox="699 667 1417 786"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>24.14</td> <td>25.11</td> <td>25.36</td> <td>25.64</td> <td>26.11</td> <td>26.18</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>16.9</td> <td>18.26</td> <td>19.51</td> <td>21.19</td> <td>22.64</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	24.14	25.11	25.36	25.64	26.11	26.18	● 類似団体平均	16.9	18.26	19.51	21.19	22.64	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																	
■ 飯塚市	24.14	25.11	25.36	25.64	26.11	26.18																	
● 類似団体平均	16.9	18.26	19.51	21.19	22.64																		
【算出式】 $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$																							
【指標の意味】 法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化割合を示しています。																							
【数値の方向性】	↓	【評価】 C																					
【本市の分析】 本市においては、法定耐用年数を経過した本管管路を数多く保有し、管路更新の重要性が増しています。老朽化は年々進んでいるため、引き続き計画的な管路更新に努めていきます。																							

③ 管路更新率 (%)	<table border="1" data-bbox="699 1541 1417 1659"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 飯塚市</td> <td>0.49</td> <td>0.66</td> <td>0.63</td> <td>0.63</td> <td>0.59</td> <td>0.55</td> </tr> <tr> <td>● 類似団体平均</td> <td>0.72</td> <td>0.66</td> <td>0.67</td> <td>0.62</td> <td>0.60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	R5	■ 飯塚市	0.49	0.66	0.63	0.63	0.59	0.55	● 類似団体平均	0.72	0.66	0.67	0.62	0.60	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																	
■ 飯塚市	0.49	0.66	0.63	0.63	0.59	0.55																	
● 類似団体平均	0.72	0.66	0.67	0.62	0.60																		
【算出式】 $\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$																							
【指標の意味】 当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できる。																							
【数値の方向性】	↑	【評価】 C																					
【本市の分析】 年度でばらつきはあるものの、おおむね類似団体と同程度の更新を行っています。経営戦略では管路更新延長についても目標を設定しており、毎年度計画通り管路の更新を実施していくこととしております。																							

5章 経営の現状と課題について

5-1 経営指標の「3つの視点」による現状と課題

4-1-2の指標のとおり管路や施設の老朽化が進んでおり【安全】・【強靱】な施設にするために計画通りに施設の更新を行っていく必要があります。

また料金回収率については、料金改定により100%を上回っておりますが、健全な事業経営を【持続】するために、コストの削減や給水収益の確保に努める必要があります。

5-2 全体総括

公営企業は、経営状況及び料金対象経費の把握が不可欠であり、経営の合理化、料金水準の適正化等による独立採算の原則に基づく経営が求められています。

飯塚市水道事業においては、給水戸数に対して給水面積が広いことから、保有する施設が多く、老朽化割合が高い状況にあります。また、R4年1月には料金改定を行いました。今後とも人口減少や節水による有収水量の減少が見込まれます。

有収率・管路経年化率・管路更新率については、評価Cの状況が続いております。有収率については、漏水等の早期発見に向けた取り組み、管路経年化率・管路更新率については、次期経営戦略においては更なる更新延長の確保に向けた検討を行うなど、状況の改善に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

今後の課題として、施設の効率性、管路更新、収益性が挙げられ、各指標の結果を基に、水道事業の安定的な経営に向けて、計画的な事業運営をしていく必要があると考えています。

【各指標の評価一覧表】

指標名	数値の方向性	R5決算値 (企業局速報値)		評価
		飯塚市	類似団体平均 (R4)	
1. 経営の健全性・効率性について				
① 経常収支比率 (%)	↑	108.41	109.99	A
② 累積欠損金比率 (%)	↓	0.00	0.00	A
③ 流動比率 (%)	↑	262.64	364.24	B
④ 企業債残高対給水収益比率 (%)	↓	358.70	238.77	B
⑤ 料金回収率 (%)	↑	108.95	98.85	A
⑥ 給水原価 (円)	↓	176.18	162.61	B
⑦ 施設利用率 (%)	↑	62.34	61.81	B
⑧ 有収率 (%)	↑	85.28	89.24	C
2. 老朽化の状況について				
① 有形固定資産減価償却率 (%)	↓	49.32	51.28	A
② 管路経年化率 (%)	↓	26.18	22.64	C
③ 管路更新率 (%)	↑	0.55	0.60	C

【数値の方向性】

- ↑ 増加が望ましい指標
- ↓ 減少が望ましい指標
- () 望ましい基準の数値

【評価内容】

- A 良好な状況
- B 現状では問題がない
- C 悪化 (要改善)

